

## 共通教育におけるアクティブ・ラーニング

## 特別寄稿

## ● 何のためのアクティブ・ラーニングか

— 問われる授業評価の質 —

教育地域科学部 附属教育実践総合センター 遠藤 貴広 …… 1

## ● 「日本事情」におけるアクティブ・ラーニング

— 『越前若狭いろはかるた』を使用した授業の紹介 —

留学生センター 膽吹 覚 …… 2

## ● アクティブ・ラーニングの取り組み

— 「言語表現」における主体的学習の構成と実際 —

教育地域科学部 言語教育講座 松友 一雄 …… 4

## ● 高大接続教育を創造する「課題研究」の実践

— アクティブ・ラーニングによる学習成果 —

アドミッションセンター 大久保 貢 …… 6

CONTENTS .....	8
共通教育の理念・目的 .....	8
編集後記 .....	8

共通教育の  
理念・目的

特定の分野に偏ることなく、広く学問の知識や方法を学ぶことを通じて、総合的な判断力と行動力をそなえた良識ある社会人として自己を陶冶するとともに、専門教育を通して学んだ知識や技能及び学術等の成果を生かし広く社会に貢献できるような人間の育成をめざす。(1993年制定、2005年改正)

## 編集後記

今回は「共通教育におけるアクティブ・ラーニング」というテーマで本誌を構成した。教育実践総合センターの遠藤貴広先生にはご専門の立場から、なぜ今「アクティブ・ラーニング」が求められているのか、そしてそれはどのようなものなのか、という点を解説していただいた。また、留学生センターの膽吹覚先生、教育地域科学部の松友一雄先生、アドミッションセンターの大久保貢先生の三人の先生方からは、受講者が主体的に取り組む授業の具体的なあり方をご提案いただいた。

準備の難しさや受講者の意識を高めることの苦労など、いざ「アクティブ・ラーニング」に取り組む際の高い壁のようなものがあることを感じた。しかしそれ以上に、受講者たちが自ら取り組み、自ら評価することによって、自分の学びに見通しを持って向き合っていく姿も見られた。教員、受講者双方が「アクティブ・ラーニング」についての理解を深め、協働で授業を作っていく取り組みが進められる必要がある。(編集委員：本間礼人、廣澤愛子、松友一雄、橋本貴明、栗原一嘉、山中和樹)

## 福井大学(文京キャンパス)共通教育フォーラム

● 発行日 2013年1月30日 ● 発行者 福井大学共通教育センター  
● 連絡先 学務部教務課 教養・共通教育係 Tel 0776-27-8627 Fax 0776-27-8519 E-mail: gkkyoyo-k@ad.u-fukui.ac.jp